

対象校No. 954
注4

学校コード F128310108936
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2

神戸芸術工科大学 芸術工学部 生産・工芸デザイン学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人谷岡学園
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 教務課

職名・氏名 課長・濱田 美由紀

電話番号 078-794-5025
(夜間)

e-mail academic-b@kobe-du.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

芸術工学部

＜生産・工芸デザイン学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	35

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人谷岡学園

(2) 大学名

神戸芸術工科大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒651-2196

兵庫県神戸市西区学園西町8丁目1番地1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タニカ イロウ) 谷岡 一郎 (平成17年4月)		
学長	(サウ マル) 佐藤 優 (令和6年4月)	(マツムラ シュウイチ) 松村 秀一 (令和6年4月)	学長交代 令和6年4月1日(6)
学部長	-		
学科長等	(ササキ アキノ) 笹崎 (小峰) 綾野 (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
芸術工学部 生産・工芸デザイン学科 学士(芸術工学)	美術関係 工学関係	4年	100人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	400人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	100人 () [若干名]			
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	255 [51]			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	218 [40]			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	139 [29]			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	104 [17]			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.04倍			令和6年4月開設

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	104	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[17]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	104	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[17]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	104 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{104} = \boxed{0} \%$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<芸術工学部 生産・工芸デザイン学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置							兼任・兼任	
			必修	選択	教員	准教授	講師	助教	助手	兼任			
学修基礎	スタディスキルズ	1前	1									1	
	日本語表現Ⅰ	1・2・3・4前・後	2									4	
	日本語表現Ⅱ	1・2・3・4前・後	2									4	
	文章表現法A	2・3・4後	2									1	
	文章表現法B	2・3・4後	2									2	
	人文・社会	日本史	1・2・3・4後	2									1
		世界史	1・2・3・4前	2									1
		心理学	1・2・3・4後	2									1
		デザイン史	1・2・3・4前・後	2									1
		日本美術史	1・2・3・4前・後	2									1
		西洋美術史	1・2・3・4前・後	2									1
		美学	1・2・3・4後	2									1
		人文地理学	1・2・3・4前	2									1
		文化人類学	1・2・3・4前・後	2									1
		法学(日本国憲法を含む)	1・2・3・4前・後	2									1
		知的財産権入門	2・3・4後	2									1
		現代社会論	2・3・4後	2									1
		マーケティング論	2・3・4後	2									1
		教育心理学	1・2・3・4前	2									1
		生涯学習概論	1・2・3・4後	2									1
博物館展示論	3・4後	2									1		
東アジア文化入門	1・2・3・4前・後	2									1		
文学・言語学	1・2・3・4後	2									1		
経済・政治	1・2・3・4前	2									1		
教育学	1・2・3・4後	2									1		
自然・情報	数学入門A	1・2・3・4前	2									1	
	数学入門B	1・2・3・4後	2									1	
	物理学入門	1・2・3・4前	2									1	
	科学と技術	1・2・3・4後	2									1	
	かたちの科学	1・2・3・4前・後	2									1	
	数理とかたち	1・2・3・4前	2			1						1	
	健康科学	1・2・3・4前・後	2									1	
	スポーツ実技A(体育)	1・2・3・4前・後	1									2	
	スポーツ実技B(ダンス)	1・2・3・4前	1									1	
	情報とネットワーク	2・3・4前	2			1						2	
博物館情報・メディア論	3・4前	2			1						3		
外国語	基礎英語Ⅰ	1・2・3・4前・後	2									6	
	基礎英語Ⅱ	1・2・3・4後	2									6	
	英語コミュニケーションA	2・3・4前・後	2									3	
	英語コミュニケーションB	2・3・4前・後	2									3	
	表現のための英語A	2・3・4前・後	2									3	
	表現のための英語B	2・3・4前・後	2									2	
	現代英語	2・3・4前・後	2									1	
	フランス語Ⅰ	2・3・4前・後	2									1	
	フランス語Ⅱ	2・3・4後	2									1	
	ドイツ語Ⅰ	2・3・4前・後	2									1	
	ドイツ語Ⅱ	2・3・4後	2									1	
	中国語Ⅰ	2・3・4前・後	2									1	
	中国語Ⅱ	2・3・4後	2									1	
	韓国語Ⅰ	2・3・4前・後	2									1	
	韓国語Ⅱ	2・3・4後	2									1	
	日本語初級Ⅰ	1・2・3・4前	1									2	
	日本語初級Ⅱ	1・2・3・4後	1									1	
	日本語中級Ⅰ	1・2・3・4前	1									1	
日本語中級Ⅱ	1・2・3・4後	1									1		
キャリア	キャリアデザインA	1・2・3・4後	2									1	
	キャリアデザインB	2・3・4後	2									1	
	キャリアデザインC	3・4前	2									2	
	ビジネス数学(SPI対策)	2・3・4後	2									1	
	ビジネスコンピュータ	1・2・3・4前	1									1	
	インターンシップA	1・2・3・4	1									1	
インターンシップB	1・2・3・4	1									1		
小計(62科目)	-	4	110	0	1	0	0	0	0	0	0	45	
専門教育科目	芸術工学概論-P	1・2・3・4前	2			1	1					10	
	色とかたち-P	1・2・3・4前	2									1	
	現代デザイン論-P	1・2・3・4後	2									1	
	現代音楽-P	1・2・3・4後	2									1	
	作品の見方-P	1・2・3・4後	2									1	
	人間工学-P	1・2・3・4後	2									1	
	空間・情報グラフィックス入門-P	1・2・3・4前・後	2									1	
	現代アート論-P	2・3・4後	2									1	
	映像コンテンツ論-P	1・2・3・4前	2									1	
	映像技術入門-P	1・2・3・4前・後	2									1	
	アート・マネジメント-P	1・2・3・4後	2									2	
	身体表現論-P	1・2・3・4後	2									2	
	都市環境グラフィックス・アート概論-P	2・3・4後	2									1	
	デッサン基礎実習-P	1・2・3・4前・後	2									4	
	絵画基礎実習A-P	1・2・3・4前・後	2									2	
	絵画基礎実習B-P	1・2・3・4前	2									1	
	彫刻基礎実習-P	1・2・3・4前・後	2									1	
	工芸基礎実習-P	1・2・3・4前・後	2									1	
	スケッチ・素描・イメージ-P	1・2・3・4前・後	2									2	

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置							兼任・兼任	
			必修	選択	教員	准教授	講師	助教	助手	兼任			
学修基礎	スタディスキルズ	1前	1									1	
	日本語表現Ⅰ	1・2・3・4前・後	2									5	
	日本語表現Ⅱ	1・2・3・4前・後	2									4	
	文章表現法A	2・3・4後	2									1	
	文章表現法B	2・3・4後	2									2	
	人文・社会	日本史	1・2・3・4後	2									1
		世界史	1・2・3・4前	2									1
		心理学	1・2・3・4前	2									1
		デザイン史	1・2・3・4後	2									1
		日本美術史	1・2・3・4前	2									1
		西洋美術史	1・2・3・4前・後	2									1
		美学	1・2・3・4後	2									1
		人文地理学	1・2・3・4前	2									1
		文化人類学	1・2・3・4前・後	2									1
		法学(日本国憲法を含む)	1・2・3・4前・後	2									1
		知的財産権入門	2・3・4後	2									1
		現代社会論	2・3・4後	2									1
		マーケティング論	2・3・4後	2									1
		教育心理学	1・2・3・4前	2									1
		生涯学習概論	1・2・3・4後	2									1
博物館展示論	3・4後	2									1		
東アジア文化入門	1・2・3・4前・後	2									1		
文学・言語学	1・2・3・4後	2									1		
経済・政治	1・2・3・4前	2									1		
教育学	1・2・3・4後	2									1		
自然・情報	数学入門A	1・2・3・4前	2									1	
	数学入門B	1・2・3・4後	2									1	
	物理学入門	1・2・3・4前	2									1	
	科学と技術	1・2・3・4後	2									1	
	かたちの科学	1・2・3・4前・後	2									1	
	数理とかたち	1・2・3・4前	2									1	
	健康科学	1・2・3・4前・後	2									1	
	スポーツ実技A(体育)	1・2・3・4前・後	1									2	
	スポーツ実技B(ダンス)	1・2・3・4前	1									1	
	情報とネットワーク	2・3・4前	2									2	
博物館情報・メディア論	3・4前	2									4		
外国語	基礎英語Ⅰ	1・2・3・4前・後	2									6	
	基礎英語Ⅱ	1・2・3・4後	2									6	
	英語コミュニケーションA	2・3・4前・後	2									3	
	英語コミュニケーションB	2・3・4前・後	2									3	
	表現のための英語A	2・3・4前・後	2									3	
	表現のための英語B	2・3・4前・後	2									2	
	現代英語	2・3・4前・後	2									1	
	フランス語Ⅰ	2・3・4前・後	2									1	
	フランス語Ⅱ	2・3・4後	2									1	
	ドイツ語Ⅰ	2・3・4前・後	2									1	
	ドイツ語Ⅱ	2・3・4後	2									1	
	中国語Ⅰ	2・3・4前・後	2									1	
	中国語Ⅱ	2・3・4後	2									1	
	韓国語Ⅰ	2・3・4前・後	2									1	
	韓国語Ⅱ	2・3・4後	2									1	
	日本語初級Ⅰ	1・2・3・4前	1									2	
	日本語初級Ⅱ	1・2・3・4後	1									1	
	日本語中級Ⅰ	1・2・3・4前	1									1	
日本語中級Ⅱ	1・2・3・4後	1									1		
キャリア	キャリアデザインA	1・2											

科目区分	授業科目の名称	記 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必 修	選 修	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
芸術工学基礎	図学・製図基礎実習-P	1・2・3・4前・後	2								3
	ドローイング-P	1・2・3・4前・後	4								2
	基礎表現演習A-P	1・2・3・4前・後	2								3
	基礎表現演習B-P	1・2・3・4前・後	2								3
	文字とイメージA-P	1・2・3・4前	2								1
	文字とイメージB-P	2・3・4後	2								1
	グレートフィルムズ-P	1・2・3・4前・後	2								1
	メディア表現ワークショップ-P	2・3・4後	4								1
	写真基礎実習-P	2・3・4前・後	2								1
	コンピュータ基礎実習-P	1・2・3・4前・後	2								7
	コンピュータデザイン演習A-P	2・3・4前・後	4								1
	コンピュータデザイン演習B-P	2・3・4後	2								1
	プログラミング基礎実習-P	2・3・4前・後	4								1
	ジェネレーティブアート演習-P	2・3・4前・後	4								1
	ビジュアルプログラミング演習-P	3・4前	4								1
	Webプログラミング演習-P	3・4前・後	4								1
	Pythonプログラミング演習-P	3・4後	4								1
	アート&デザインプロジェクトA-P	1・2・3・4通	4								1
	アート&デザインプロジェクトB-P	2・3・4通	4								1
	アート&デザインプロジェクトC-P	2・3・4通	4								1
	総合プロジェクトA-P	1・2・3・4	4								1
総合プロジェクトB-P	1・2・3・4	4								1	
小計(41科目)	—	8	100	0	2	1	0	0	0	0	34
必修	生産・工芸デザイン概論	1前	2			5	7		1		
	生産・工芸デザイン基礎実習A	1前	3			3	4		1		
	生産・工芸デザイン基礎実習B	1後	3			4	4		1		
	生産・工芸デザインの現場	3前	2			5	7		1		
	小計(4科目)	—	10	0	0	5	7	0	1	0	0
選択必修	プロダクトデザイン実習 I	2前	3			2	4				
	ファッション・テキスタイル実習 I	2前	3			1	2				
	クラフト実習 I	2前	3			2	1		1		
	プロダクトデザイン実習 II	2後	3			2	4				
	ファッション・テキスタイル実習 II	2後	3			1	2				
	クラフト実習 II	2後	3			2	1		1		4
	プロダクトデザイン応用実習 I	3前	3			2	4				
	ファッション・テキスタイル応用実習 I	3前	3			1	2				1
	クラフト応用実習 I	3前	3			2	1		1		4
	プロダクトデザイン応用実習 II	3後	3			2	4				2
	ファッション・テキスタイル応用実習 II	3後	3			1	2				1
	クラフト応用実習 II	3後	3			2	1		1		4
	小計(12科目)	—	0	36	0	5	7	0	1	0	7
専門教育科目	学科入門セミナー	1前	1			5	6		1		
	ユニバーサルデザイン	1前	2								1
	素材・材料論	1前	2			1					2
	身体とデザイン	2前	2								1
	プレゼンテーション基礎	1前	4			1					1
	自然とデザイン	1後	2			1					1
	生活機器デザイン	2前	2			1					1
	イメージ構想法	2後	2			1					1
	デジタルファブリケーション	2前	2			1					1
	基礎撮影演習(モノ)	2前	2								1
	プレゼンテーション応用	2前	4								1
	3Dモデリング基礎	2前	4			1					1
	製図法演習	2前	2			1					1
	ドレーピング	2後	2			1					1
	テキスタイル基礎	2後	2			1					1
	ガラス表現	3後	2			1					1
	器表現	3後	2			1					1
	ジュエリー表現	3後	2			1					1
	フィギュア表現	3後	2						1		1
	フィギュア応用表現	3前	4								1
	ファッションマーケティング	2前	2								1
	インダストリアルデザイン	2後	2			1					1
	デジタルプレゼンテーション	2後	2								1
	アダプティブインタフェース演習	2後	2			1					1
	3Dモデリング応用	2後	4								1
	家具・インテリア製図	2前	4								1
	ファッション企画演習	3前	2								1
	パターンメーキング	2前	2			1					1
	テキスタイルプリントデザイン	2前	2								1
	吹きガラス表現	2後	4								1
	陶表現	2後	4								2
	宝飾表現	3前	4								1
	デザインブランディング論	3前	2								1
	基礎撮影演習(ファッション)	3前	2								1
	展示デザイン	3前	2			1					1
	ファッション・デジタルクリエーション	3後	2								1
	ニットデザイン	3前	2								1
	デザインプロモーション演習	3前	2								1
	生産・工芸デザインプロジェクト	3後	2			5	7		1		1
	ファッション空間演出	4後	2			1					1
小計(40科目)	—	0	97	0	5	7	0	1	0	20	
卒業研究	4通	10				5	7		1		0
小計(1科目)	—	10	0	0	5	7	0	1	0	0	
合計(160科目)	—	32	343	0	6	7	0	1	0	96	
卒業要件及び履修方法											
基礎教育科目(学修基礎)4単位以上、(人文・社会)4単位以上、(自然・情報)4単位以上、(外国語)6単位以上、(キャリア)4単位以上、基礎教育科目で計32単位、専門教育科目(芸術工学基礎)14単位、(必修)10単位、(選択必修)12単位、(選択)38単位、(卒業研究)10単位、専門教育科目で計84単位、自由科目8単位の合計124単位を修得することを卒業要件とする。											

科目区分	授業科目の名称	記 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必 修	選 修	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
芸術工学基礎	図学・製図基礎実習-P	1・2・3・4前・後	2								3
	ドローイング-P	1・2・3・4前・後	4								2
	基礎表現演習A-P	1・2・3・4前・後	2								3
	基礎表現演習B-P	1・2・3・4前・後	2								3
	文字とイメージA-P	1・2・3・4前	2								1
	文字とイメージB-P	2・3・4後	2								1
	グレートフィルムズ-P	1・2・3・4前・後	2								1
	メディア表現ワークショップ-P	2・3・4後	4								1
	写真基礎実習-P	2・3・4前・後	2								1
	コンピュータ基礎実習-P	1・2・3・4前・後	2								7
	コンピュータデザイン演習A-P	2・3・4前・後	4								1
	コンピュータデザイン演習B-P	2・3・4後	2								1
	プログラミング基礎実習-P	2・3・4前・後	4								1
	ジェネレーティブアート演習-P	2・3・4前・後	4								1
	ビジュアルプログラミング演習-P	3・4前	4								1
	Webプログラミング演習-P	3・4前・後	4								1
	Pythonプログラミング演習-P	3・4後	4								1
	アート&デザインプロジェクトA-P	1・2・3・4通	4								1
	アート&デザインプロジェクトB-P	2・3・4通	4								1
	アート&デザインプロジェクトC-P	2・3・4通	4								1
	総合プロジェクトA-P	1・2・3・4	4								1
総合プロジェクトB-P	1・2・3・4	4								1	
小計(41科目)	—	8	100	0	1	2	0	0	0	0	36
必修	生産・工芸デザイン概論	1前	2			5	6		1		
	生産・工芸デザイン基礎実習A	1前	3			3	3		1		
	生産・工芸デザイン基礎実習B	1後	3			4	4		1		
	生産・工芸デザインの現場	3前	2			5	6		1		
	小計(4科目)	—	10	0	0	5	6	0	1	0	0
選択必修	プロダクトデザイン実習 I	2前	3			2	3				
	ファッション・テキスタイル実習 I	2前	3			1	2				
	クラフト実習 I	2前	3			2	1		1		
	プロダクトデザイン実習 II	2後	3			2	3				
	ファッション・テキスタイル実習 II	2後	3			1	2				
	クラフト実習 II	2後	3			2	1		1		4
	プロダクトデザイン応用実習 I	3前	3			2	3				2
	ファッション・テキスタイル応用実習 I	3前	3			1	2				1
	クラフト応用実習 I	3前	3			2	1		1		4
	プロダクトデザイン応用実習 II	3後	3			2	3				2
	ファッション・テキスタイル応用実習 II	3後	3			1	2				1
	クラフト応用実習 II	3後	3			2	1		1		4
	小計(12科目)	—	0	36	0	5	6	0	1	0	7
専門教育科目	学科入門セミナー	1前	1			5	6		1		
	ユニバーサルデザイン	1前	2								1
	素材・材料論	1前	2			1					2
	身体とデザイン	2前	2			1					1
	プレゼンテーション基礎	1前	4			1					1
	自然とデザイン	1後	2			1					1
	生活機器デザイン	2前	2			1					1
	イメージ構想法	2後	2			1					1
	デジタルファブリケーション	2前	2			1					1
	基礎撮影演習(モノ)	2前	2								1
	プレゼンテーション応用	2前	4								1
	3Dモデリング基礎	2前	4			1					1
	製図法演習	2前	2			1					1
	ドレーピング	2後	2			1					1
	テキスタイル基礎	2後	2			1					1
	ガラス表現	3後	2			1					1
	器表現	3後	2			1					1
	ジュエリー表現	3後	2			1					1
	フィギュア表現	3後	2						1		1
	フィギュア応用表現	3前	4								1
	ファッションマーケティング	2前	2								1
	インダストリアルデザイン	2後									

- ・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任・兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- ・1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
- ・専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。（例：記載順）【認可時又は届出時】→【令和6年度（新）→【令和5年度（新）→【令和4年度（新）→【令和3年度（旧）→【令和6年度（旧）→【令和5年度（旧）

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・「日本語表現Ⅰ」の開講クラス教員直しにより、兼任4から兼任5に変更。
- ・「心理学」の開講学期を後期から前期に変更。
- ・「デザイン史」の開講学期を前・後期から後期に変更。
- ・「日本美術史」の開講学期を前・後期から前期に変更。
- ・「日本語中級Ⅱ」の開講学期を前期から後期に変更。
- ・「彫刻基礎実習-P」の開講学期を前・後期から前期に変更。
- ・「スケッチ・素描・イメージ-P」の開講学期を前・後期から後期に変更。
- ・「ドローイング-P」の開講学期を前・後期から前期に変更。
- ・担当者の辞任により、「数理と私たち」の開講学期を前期から後期に変更し、担当者を変更。
- ・担当者の辞任により、「情報とネットワーク」を教授1、兼任1から兼任・兼任2に変更。
- ・担当者の見直しにより、「博物館情報・メディア論」を教授1、兼任・兼任3から兼任・兼任4に変更。
- ・担当者の見直しにより、「芸術工学概論-P」の担当者を追加。
- ・「テッサン基礎実習-P」の開講クラス教員直しにより、兼任4から兼任5に変更。
- ・担当者の辞任により、「Webプログラミング演習-P」「Pythonプログラミング演習-P」を教授1から兼任・兼任1に変更。
- ・担当者の辞任により、「生産・工芸デザイン概論」「生産・工芸デザイン基礎実習A」「生産・工芸デザインの現場」「プロダクトデザイン実習Ⅰ」「プロダクトデザイン実習Ⅱ」「プロダクトデザイン応用実習Ⅰ」「プロダクトデザイン応用実習Ⅱ」「生産・工芸デザインプロジェクト」「卒業研究」について准教授を1減に変更。
- ・担当者の辞任により、「ファッション・デジタルクリエイション」の担当者を変更。
- ・担当者の見直しにより、「素材・材料論」の教員配置を変更。
- ・担当者の見直しにより、「3Dモデリング基礎」を教授1から兼任・兼任1に変更。
- ・担当者の見直しにより、「製図法演習」を准教授1から兼任・兼任1に変更。
- ・担当者の見直しにより、「テキスタイル基礎」を教授1から兼任・兼任1に変更。
- ・担当者の見直しにより、「パターンメーカーキング」を准教授1から兼任・兼任1に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
8 科目	152 科目	0 科目	160 科目	8 科目 [-]	152 科目 [-]	0 科目 [-]	160 科目 [-]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{160} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	101,751.27㎡	0㎡	0㎡	101,751.27㎡				
	運動場用地	10,250㎡	0㎡	0㎡	10,250㎡				
	小 計	112,001.27㎡	0㎡	0㎡	112,001.27㎡				
	そ の 他	2,137.46㎡	0㎡	0㎡	2,137.46㎡				
	合 計	114,138.73㎡	0㎡	0㎡	114,138.73㎡				
(2) 校 舎	専 用	30,010.43㎡	0㎡	0㎡	30,010.43㎡				
	(30,010.43㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(30,010.43㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	23室	演 習 室 34室	実験実習室 87 89室	情報処理学習施設 8室 (補助職員 0人)	語学学習施設 0室 (補助職員 0人)			
	大学全体 用途変更のため。(6)								
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		計画時に他学科と重複して 計上していた部屋が あったため。(6)			
	芸術工学部 生産・工芸デザイン学科			12 -29 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学科単位での特定不能の ため、大学全体の数(大 学院を除く) 図書、視聴覚資料につ いて、開設前年度にお いて、既に一定充実し ている旧学科(及びカリ キュラム)において、必 要冊子類の補充にとど めた。 (6) 学術雑誌について、廃 刊等による受入種類減 少のため。(6) 機械・器具及び標本に ついて、整理し廃棄処 理を行った。(6)	
	芸術工学部	138,972 [19,560] (134,012 [19,012]) (135,028 [19,136])	864 [177] (854 [176]) (864 [177])	0 [0] (0 [0])	14,243 (13,654) (13,995)	7,217 (4,882) (7,217)	209 (192) (209)		
	計	138,972 [19,560] (134,012 [19,012]) (135,028 [19,136])	864 [177] (854 [176]) (864 [177])	0 [0] (0 [0])	14,243 (13,654) (13,995)	7,217 (4,882) (7,217)	209 (192) (209)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	2030.97㎡		199		148,000				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体		
	1,811.09㎡		テ ニ ス コ ー ト 3 面						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費について、開設 前年度に、既に一定充実 している旧学科(及びカリ キュラム)において、必 要冊子類の補充にとど めた。 (6) 設備購入費について、多 人数に対応したPC教室の 更新工事(機器の更新、可 動式パーティション設置 等により、分割授業運 営も可能とする等)を 実施した。 (6)
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	5,306千円 6,390千円	6,390千円	6,390千円	
	共同研究費等	20,000千円	20,000千円	設備購入費	50,900千円 18,694千円	18,378千円	18,378千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,800千円	第2年次 1,600千円	第3年次 1,600千円	第4年次 1,600千円	第5年次 千円	第6年次 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要	手数料、補助金、運用財産により得る収入等をもって充当する。							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称		神戸芸術工科大学					収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
芸術工学部	4	400	-	1,600	-	1.04	-	-	平成27	兵庫県神戸市西区学園西町8丁目1番地1号	
建築・環境デザイン学科	4	100	0	400	学士(芸術工学)	0.47	-	-	令和6	同上	
生産・工芸デザイン学科	4	100	0	400	学士(芸術工学)	1.04	-	-	令和6	同上	
ビジュアルデザイン学科	4	100	0	400	学士(芸術工学)	1.05	-	-	令和6	同上	
メディア芸術学科	4	100	0	400	学士(芸術工学)	1.60	-	-	令和6	同上	
環境デザイン学科	4	-	-	-	学士(芸術工学)	-	-	-	平成27	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
プロダクトデザイン学科	4	-	-	-	学士(芸術工学)	-	-	-	平成27	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
ファッションデザイン学科	4	-	-	-	学士(芸術工学)	-	-	-	平成27	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
ビジュアルデザイン学科	4	-	-	-	学士(芸術工学)	-	-	-	平成27	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
まんが表現学科	4	-	-	-	学士(芸術工学)	-	-	-	平成27	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
映像表現学科	4	-	-	-	学士(芸術工学)	-	-	-	平成27	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
アート・クラフト学科	4	-	-	-	学士(芸術工学)	-	-	-	平成27	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
大学全体	4	400	-	1,600	-	-	-	-	-	-	

(注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<芸術工学部 生産・工芸デザイン学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	金子 照之 <令和6年4月> 博士(工学)	数理とかたち 情報とネットワーク ※ 博物館情報・メディア論 ※ ジェネレーティブアート演習-P Webプログラミング演習-P Pythonプログラミング演習-P
専任	教授 (学 科主任)	笹崎 綾野 <令和6年4月> 博士(芸術工学)	生産・工芸デザイン概論 ※ 生産・工芸デザイン基礎実習B ※ 生産・工芸デザインの現場 ※ ファッション・テキスタイル実習I ※ ファッション・テキスタイル実習II ※ ファッション・テキスタイル応用実習I ※ ファッション・テキスタイル応用実習II ※ 学科入門セミナー ※ 身体とデザイン ※ ドレーピング ※ テキスタイル基礎 ※ 生産・工芸デザインプロジェクト ※ 卒業研究 ※
専任	教授	友定 聖雄 <令和6年4月> 芸術学士	生産・工芸デザイン概論 ※ 生産・工芸デザイン基礎実習A ※ 生産・工芸デザイン基礎実習B ※ 生産・工芸デザインの現場 ※ クラフト実習I ※ クラフト実習II ※ クラフト応用実習I ※ クラフト応用実習II ※ 学科入門セミナー ※ ガラス表現 ※ 生産・工芸デザインプロジェクト ※ 卒業研究 ※
専任	教授	見明 暢 <令和6年4月> 修士(芸術工学)	生産・工芸デザイン概論 ※ 生産・工芸デザイン基礎実習B ※ 生産・工芸デザインの現場 ※ プロダクトデザイン実習I ※ プロダクトデザイン実習II ※ プロダクトデザイン応用実習I ※ プロダクトデザイン応用実習II ※ 学科入門セミナー ※ 素材・材料論 ※ 3Dモデリング基礎 ※ インダストリアルデザイン ※ 生産・工芸デザインプロジェクト ※ 卒業研究 ※

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	金子 照之 <令和6年4月> 博士(工学)	情報とネットワーク ※ 博物館情報・メディア論 ※ Webプログラミング演習-P Pythonプログラミング演習-P
専任	教授 (学 科主任)	笹崎 綾野 <令和6年4月> 博士(芸術工学)	生産・工芸デザイン概論 ※ 生産・工芸デザイン基礎実習B ※ 生産・工芸デザインの現場 ※ ファッション・テキスタイル実習I ※ ファッション・テキスタイル実習II ※ ファッション・テキスタイル応用実習I ※ ファッション・テキスタイル応用実習II ※ 学科入門セミナー ※ 身体とデザイン ※ ドレーピング ※ 生産・工芸デザインプロジェクト ※ 卒業研究 ※
専任	教授	友定 聖雄 <令和6年4月> 芸術学士	生産・工芸デザイン概論 ※ 生産・工芸デザイン基礎実習A ※ 生産・工芸デザイン基礎実習B ※ 生産・工芸デザインの現場 ※ クラフト実習I ※ クラフト実習II ※ クラフト応用実習I ※ クラフト応用実習II ※ 学科入門セミナー ※ ガラス表現 ※ 生産・工芸デザインプロジェクト ※ 卒業研究 ※ 素材・材料論 ※
専任	教授	見明 暢 <令和6年4月> 修士(芸術工学)	生産・工芸デザイン概論 ※ 生産・工芸デザイン基礎実習B ※ 生産・工芸デザインの現場 ※ プロダクトデザイン実習I ※ プロダクトデザイン実習II ※ プロダクトデザイン応用実習I ※ プロダクトデザイン応用実習II ※ 学科入門セミナー ※ 素材・材料論 ※ インダストリアルデザイン ※ 生産・工芸デザインプロジェクト ※ 卒業研究 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	向井 昌幸 <令和6年4月> 修士(芸術工学)
		生産・工芸デザイン概論 ※ 生産・工芸デザイン基礎実習A ※ 生産・工芸デザインの現場 ※ プロダクトデザイン実習Ⅰ ※ プロダクトデザイン実習Ⅱ ※ プロダクトデザイン応用実習Ⅰ ※ プロダクトデザイン応用実習Ⅱ ※ 学科入門セミナー 生活機器デザイン 生産・工芸デザインプロジェクト 卒業研究
専	教授	森岡 希世子 <令和6年4月> 博士(芸術)
		生産・工芸デザイン概論 ※ 生産・工芸デザイン基礎実習A ※ 生産・工芸デザイン基礎実習B ※ 生産・工芸デザインの現場 ※ クラフト実習Ⅰ クラフト実習Ⅱ クラフト応用実習Ⅰ クラフト応用実習Ⅱ 学科入門セミナー 器表現 生産・工芸デザインプロジェクト 卒業研究 芸術工学概論-P ※
専	准教授	金沢 香恵 <令和6年4月> 修士(工芸)
		生産・工芸デザイン概論 ※ 生産・工芸デザイン基礎実習A ※ 生産・工芸デザインの現場 ※ ファッション・テキスタイル実習Ⅰ ※ ファッション・テキスタイル実習Ⅱ ※ ファッション・テキスタイル応用実習Ⅰ ※ ファッション・テキスタイル応用実習Ⅱ ※ 学科入門セミナー イメージ構想法 生産・工芸デザインプロジェクト 卒業研究
専	准教授	金箱 淳一 <令和6年4月> 博士(感性科学)
		生産・工芸デザイン概論 ※ 生産・工芸デザイン基礎実習B ※ 生産・工芸デザインの現場 ※ プロダクトデザイン実習Ⅰ ※ プロダクトデザイン実習Ⅱ ※ プロダクトデザイン応用実習Ⅰ ※ プロダクトデザイン応用実習Ⅱ ※ 学科入門セミナー アダプティブインタフェース演習 生産・工芸デザインプロジェクト 卒業研究
専	准教授	権 裕美 <令和6年4月> 博士(人文学)
		生産・工芸デザイン概論 ※ 生産・工芸デザイン基礎実習B ※ 生産・工芸デザインの現場 ※ ファッション・テキスタイル実習Ⅰ ※ ファッション・テキスタイル実習Ⅱ ※ ファッション・テキスタイル応用実習Ⅰ ※ ファッション・テキスタイル応用実習Ⅱ ※ 学科入門セミナー パターンメイキング ファッション・デジタルクリエーション 生産・工芸デザインプロジェクト ファッション空間演出 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	向井 昌幸 <令和6年4月> 修士(芸術工学)
		生産・工芸デザイン概論 ※ 生産・工芸デザイン基礎実習A ※ 生産・工芸デザインの現場 ※ プロダクトデザイン実習Ⅰ ※ プロダクトデザイン実習Ⅱ ※ プロダクトデザイン応用実習Ⅰ ※ プロダクトデザイン応用実習Ⅱ ※ 学科入門セミナー 生活機器デザイン 生産・工芸デザインプロジェクト 卒業研究
専	教授	森岡 希世子 <令和6年4月> 博士(芸術)
		生産・工芸デザイン概論 ※ 生産・工芸デザイン基礎実習A ※ 生産・工芸デザイン基礎実習B ※ 生産・工芸デザインの現場 ※ クラフト実習Ⅰ クラフト実習Ⅱ クラフト応用実習Ⅰ クラフト応用実習Ⅱ 学科入門セミナー 器表現 生産・工芸デザインプロジェクト 卒業研究 芸術工学概論-P ※ 素材・材料論 ※
専	准教授	金沢 香恵 <令和6年4月> 修士(工芸)
		生産・工芸デザイン概論 ※ 生産・工芸デザイン基礎実習A ※ 生産・工芸デザインの現場 ※ ファッション・テキスタイル実習Ⅰ ※ ファッション・テキスタイル実習Ⅱ ※ ファッション・テキスタイル応用実習Ⅰ ※ ファッション・テキスタイル応用実習Ⅱ ※ 学科入門セミナー イメージ構想法 生産・工芸デザインプロジェクト 卒業研究 芸術工学概論-P ※
専	准教授	金箱 淳一 <令和6年4月> 博士(感性科学)
		生産・工芸デザイン概論 ※ 生産・工芸デザイン基礎実習B ※ 生産・工芸デザインの現場 ※ プロダクトデザイン実習Ⅰ ※ プロダクトデザイン実習Ⅱ ※ プロダクトデザイン応用実習Ⅰ ※ プロダクトデザイン応用実習Ⅱ ※ 学科入門セミナー アダプティブインタフェース演習 生産・工芸デザインプロジェクト 卒業研究
専	准教授	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田頭 章徳 <令和6年4月> 修士(芸術工学)
		生産・工芸デザイン概論 ※ 生産・工芸デザイン基礎実習A ※ 生産・工芸デザインの現場 ※ プロダクトデザイン実習Ⅰ ※ プロダクトデザイン実習Ⅱ ※ プロダクトデザイン応用実習Ⅰ ※ プロダクトデザイン応用実習Ⅱ ※ 学科入門セミナー 自然とデザイン 展示デザイン 生産・工芸デザインプロジェクト 卒業研究
専	准教授	田口 史樹 <令和6年4月> 修士(美術)
		生産・工芸デザイン概論 ※ 生産・工芸デザイン基礎実習A ※ 生産・工芸デザイン基礎実習B ※ 生産・工芸デザインの現場 ※ クラフト実習Ⅰ クラフト実習Ⅱ クラフト応用実習Ⅰ クラフト応用実習Ⅱ 学科入門セミナー ジュエリー表現 生産・工芸デザインプロジェクト 卒業研究
専	准教授	蛭田 直 <令和6年4月> 修士(メディア表現)
		生産・工芸デザイン概論 ※ 生産・工芸デザイン基礎実習B ※ 生産・工芸デザインの現場 ※ プロダクトデザイン実習Ⅰ ※ プロダクトデザイン実習Ⅱ ※ プロダクトデザイン応用実習Ⅰ ※ プロダクトデザイン応用実習Ⅱ ※ 学科入門セミナー プレゼンテーション基礎 ※ デジタルファブリケーション 生産・工芸デザインプロジェクト 卒業研究 芸術工学概論-P ※
専	准教授	安森 弘昌 <令和6年4月> 修士(芸術工学)
		生産・工芸デザイン概論 ※ 生産・工芸デザイン基礎実習A ※ 生産・工芸デザインの現場 ※ プロダクトデザイン実習Ⅰ ※ プロダクトデザイン実習Ⅱ ※ プロダクトデザイン応用実習Ⅰ ※ プロダクトデザイン応用実習Ⅱ ※ 学科入門セミナー 製図法演習 生産・工芸デザインプロジェクト 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田頭 章徳 <令和6年4月> 修士(芸術工学)
		生産・工芸デザイン概論 ※ 生産・工芸デザイン基礎実習A ※ 生産・工芸デザインの現場 ※ プロダクトデザイン実習Ⅰ ※ プロダクトデザイン実習Ⅱ ※ プロダクトデザイン応用実習Ⅰ ※ プロダクトデザイン応用実習Ⅱ ※ 学科入門セミナー 自然とデザイン 展示デザイン 生産・工芸デザインプロジェクト 卒業研究
専	准教授	田口 史樹 <令和6年4月> 修士(美術)
		生産・工芸デザイン概論 ※ 生産・工芸デザイン基礎実習A ※ 生産・工芸デザイン基礎実習B ※ 生産・工芸デザインの現場 ※ クラフト実習Ⅰ クラフト実習Ⅱ クラフト応用実習Ⅰ クラフト応用実習Ⅱ 学科入門セミナー ジュエリー表現 生産・工芸デザインプロジェクト 卒業研究 素材・材料論 ※
専	准教授	蛭田 直 <令和6年4月> 修士(メディア表現)
		生産・工芸デザイン概論 ※ 生産・工芸デザイン基礎実習B ※ 生産・工芸デザインの現場 ※ プロダクトデザイン実習Ⅰ ※ プロダクトデザイン実習Ⅱ ※ プロダクトデザイン応用実習Ⅰ ※ プロダクトデザイン応用実習Ⅱ ※ 学科入門セミナー プレゼンテーション基礎 ※ デジタルファブリケーション 生産・工芸デザインプロジェクト 卒業研究 芸術工学概論-P ※
専	准教授	安森 弘昌 <令和6年4月> 修士(芸術工学)
		生産・工芸デザイン概論 ※ 生産・工芸デザイン基礎実習A ※ 生産・工芸デザインの現場 ※ プロダクトデザイン実習Ⅰ ※ プロダクトデザイン実習Ⅱ ※ プロダクトデザイン応用実習Ⅰ ※ プロダクトデザイン応用実習Ⅱ ※ 学科入門セミナー 製図法演習 生産・工芸デザインプロジェクト 卒業研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	三島 一能 <令和6年4月> 修士(芸術)
		生産・工芸デザイン概論 ※ 生産・工芸デザイン基礎実習A ※ 生産・工芸デザイン基礎実習B ※ 生産・工芸デザインの現場 ※ クラフト実習Ⅰ クラフト実習Ⅱ クラフト応用実習Ⅰ クラフト応用実習Ⅱ 学科入門セミナー フィギュア表現 生産・工芸デザインプロジェクト 卒業研究
兼担	教授	秋宗 英生 <令和6年4月> 文学士
		基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	教授	浅場 正宏 <令和6年4月> 教育学修士
		デッサン基礎実習-P 絵画基礎実習A-P
兼担	教授	荒木 優子 <令和6年4月> 修士(芸術工学)
		芸術工学概論-P ※
兼担	教授	上河 創 <令和6年4月> 文学士
		基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	教授	榮元 正博 <令和6年4月> 修士(工学)
		芸術工学概論-P ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	三島 一能 <令和6年4月> 修士(芸術)
		生産・工芸デザイン概論 ※ 生産・工芸デザイン基礎実習A ※ 生産・工芸デザイン基礎実習B ※ 生産・工芸デザインの現場 ※ クラフト実習Ⅰ クラフト実習Ⅱ クラフト応用実習Ⅰ クラフト応用実習Ⅱ 学科入門セミナー フィギュア表現 生産・工芸デザインプロジェクト 卒業研究 素材・材料論 ※
専	准教授	淡路谷 朋子 <令和6年4月> 博士(学術)
		生産・工芸デザイン概論 ※ 生産・工芸デザイン基礎実習B ※ 生産・工芸デザインの現場 ※ ファッション・テキスタイル実習Ⅰ ※ ファッション・テキスタイル実習Ⅱ ※ ファッション・テキスタイル応用実習Ⅰ ※ ファッション・テキスタイル応用実習Ⅱ ※ 学科入門セミナー 生産・工芸デザインプロジェクト ファッション空間演出 卒業研究
兼担	教授	秋宗 英生 <令和6年4月> 文学士
		基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	教授	浅場 正宏 <令和6年4月> 教育学修士
		デッサン基礎実習-P 絵画基礎実習A-P
兼担	教授	上河 創 <令和6年4月> 文学士
		基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	教授	榮元 正博 <令和6年4月> 修士(工学)
		芸術工学概論-P ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大内 克哉 <令和6年4月> 博士(理学)
		物理学入門 科学と技術 かたちの科学 情報とネットワーク ※ ビジネス数学(SPI対策) コンピュータ基礎実習-P プログラミング基礎実習-P ビジュアルプログラミング演習-P
兼任	教授	大槻 和浩 <令和6年4月> 学士(教育学)
		工芸基礎実習-P
兼任	教授	岡本 弘毅 <令和6年4月> 修士(文学)
		西洋美術史 博物館展示論 博物館情報・メディア論 ※
兼任	教授	工藤 稜 <令和6年4月> 芸術学修士
		デッサン基礎実習-P
兼任	教授	瀬能 徹 <令和6年4月> 修士(芸術工学)
		芸術工学概論-P ※
兼任	教授	津田 徹 <令和6年4月> 博士(教育学)
		スタディスキルズ ※ 教育学 ビジネスコンピュータ
兼任	教授	寺門 孝之 <令和6年4月> 博士(芸術工学)
		芸術工学概論-P ※
兼任	教授	長瀬 伸貴 <令和6年4月> 修士(芸術工学)
		芸術工学概論-P ※
兼任	教授	日高 晋作 <令和6年4月> 学士(工学)
		芸術工学概論-P ※
兼任	教授	藤山 哲朗 <令和6年4月> 工学修士
		図学・製図基礎実習-P

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大内 克哉 <令和6年4月> 博士(理学)
		物理学入門 科学と技術 かたちの科学 情報とネットワーク ※ コンピュータ基礎実習-P プログラミング基礎実習-P ビジュアルプログラミング演習-P スタディスキルズ ※ 数理とかたち
兼任	教授	大槻 和浩 <令和6年4月> 学士(教育学)
		工芸基礎実習-P
兼任	教授	岡本 弘毅 <令和6年4月> 修士(文学)
		西洋美術史 博物館展示論 博物館情報・メディア論 ※
兼任	教授	工藤 稜 <令和6年4月> 芸術学修士
		デッサン基礎実習-P
兼任	教授	瀬能 徹 <令和6年4月> 修士(芸術工学)
		芸術工学概論-P ※
兼任	教授	津田 徹 <令和6年4月> 博士(教育学)
		教育学
兼任	教授	寺門 孝之 <令和6年4月> 博士(芸術工学)
		芸術工学概論-P ※
兼任	教授	長瀬 伸貴 <令和6年4月> 修士(芸術工学)
		芸術工学概論-P ※
兼任	教授	日高 晋作 <令和6年4月> 学士(工学)
		芸術工学概論-P ※
兼任	教授	藤山 哲朗 <令和6年4月> 工学修士
		図学・製図基礎実習-P

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	行本 健一 <令和6年4月> 教育学修士
		デッサン基礎実習-P 絵画基礎実習A-P
兼任	教授	吉田 雅則 <令和6年4月> 修士(芸術)
		博物館情報・メディア論 ※
兼任	准教授	アラル・ケンザ宝 <令和6年4月> 修士(応用言語学及び英語教授法TESOL) / 学士(英語学) / 学士(音楽学)
		基礎英語 I 基礎英語 II 英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB 表現のための英語A
兼任	准教授	岡村 光浩 <令和6年4月> 修士(国際学) ※
		基礎英語 I 基礎英語 II 表現のための英語A 表現のための英語B 現代英語
兼任	准教授	高 台泳 <令和6年4月> 博士(デザイン学)
		東アジア文化入門 空間・情報グラフィックス入門-P 都市環境グラフィックス・アート概論-P 基礎表現演習A-P ※ 基礎表現演習B-P ※ 文字とイメージA-P 文字とイメージB-P
兼任	准教授	小松 麻美 <令和6年4月> 博士(日本語教育学)
		日本語表現 I 日本語表現 II 文章表現法B 文学・言語学 日本語初級 I
兼任	准教授	さくま はな <令和6年4月> Ph D n Fine Art (イギリス)
		現代アート論-P アート・マネジメント-P ※ スケッチ・素描・イメージ-P ドローイング-P 基礎表現演習A-P ※ アート&デザインプロジェクトC-P
兼任	准教授	曾和 具之 <令和6年4月> 博士(学術)
		メディア表現ワークショップ-P アート&デザインプロジェクトA-P デジタルプレゼンテーション

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	行本 健一 <令和6年4月> 教育学修士
		デッサン基礎実習-P 絵画基礎実習A-P
兼任	教授	吉田 雅則 <令和6年4月> 修士(芸術)
		博物館情報・メディア論 ※
兼任	准教授	アラル・ケンザ宝 <令和6年4月> 博士(情報学)
		基礎英語 I 基礎英語 II 英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB 表現のための英語A
兼任	准教授	岡村 光浩 <令和6年4月> 修士(国際学) ※
		基礎英語 I 基礎英語 II 表現のための英語A 表現のための英語B 現代英語
兼任	准教授	高 台泳 <令和6年4月> 博士(デザイン学)
		東アジア文化入門 空間・情報グラフィックス入門-P 都市環境グラフィックス・アート概論-P 基礎表現演習A-P ※ 基礎表現演習B-P ※ 文字とイメージA-P 文字とイメージB-P
兼任	准教授	小松 麻美 <令和6年4月> 博士(日本語教育学)
		日本語表現 I 日本語表現 II 文章表現法B 文学・言語学 日本語初級 I
兼任	准教授	さくま はな <令和6年4月> Ph D n Fine Art (イギリス)
		現代アート論-P アート・マネジメント-P ※ スケッチ・素描・イメージ-P ドローイング-P 基礎表現演習A-P ※ アート&デザインプロジェクトC-P
兼任	准教授	曾和 具之 <令和6年4月> 博士(学術)
		メディア表現ワークショップ-P アート&デザインプロジェクトA-P デジタルプレゼンテーション

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	谷口 文保 <令和6年4月> 博士(芸術工学)
		博物館情報・メディア論 ※ 芸術工学概論-P ※ 作品の見方-P アート・マネジメント-P ※ 彫刻基礎実習-P 基礎表現演習B-P ※ アート&デザインプロジェクトB-P
兼担	准教授	榎橋 雅博 <令和6年4月> 修士(芸術工学)
		現代音楽-P 映像コンテンツ論-P 映像技術入門-P 身体表現論-P グレートフィルムズ-P
兼担	准教授	中山 玲佳 <令和6年4月> 修士(美術)
		絵画基礎実習B-P スケッチ・素描・イメージ-P ドローイング-P 基礎表現演習A-P ※ 基礎表現演習B-P ※
兼担	准教授	畑 友洋 <令和6年4月> 修士(工学)
		芸術工学概論-P ※
兼担	准教授	山本 忠宏 <令和6年4月> 修士(芸術工学)
		芸術工学概論-P ※
兼担	助教	杉本 真理子 <令和6年4月> 修士(芸術工学)
		コンピュータ基礎実習-P コンピュータデザイン演習A-P コンピュータデザイン演習B-P
兼担	助教	武田 峻彦 <令和6年4月> 修士(芸術工学)
		芸術工学概論-P ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	谷口 文保 <令和6年4月> 博士(芸術工学)
		博物館情報・メディア論 ※ 芸術工学概論-P ※ 作品の見方-P アート・マネジメント-P ※ 彫刻基礎実習-P 基礎表現演習B-P ※ アート&デザインプロジェクトB-P
兼担	准教授	榎橋 雅博 <令和6年4月> 修士(芸術工学)
		現代音楽-P 映像コンテンツ論-P 映像技術入門-P 身体表現論-P グレートフィルムズ-P
兼担	准教授	中山 玲佳 <令和6年4月> 修士(美術)
		絵画基礎実習B-P スケッチ・素描・イメージ-P ドローイング-P 基礎表現演習A-P ※ 基礎表現演習B-P ※
兼担	准教授	畑 友洋 <令和6年4月> 修士(工学)
		芸術工学概論-P ※
兼担	准教授	山本 忠宏 <令和6年4月> 博士(学術)
		芸術工学概論-P ※
兼担	助教	杉本 真理子 <令和6年4月> 修士(芸術工学)
		コンピュータ基礎実習-P コンピュータデザイン演習A-P コンピュータデザイン演習B-P
兼担	助教	武田 峻彦 <令和6年4月> 修士(芸術工学)
		芸術工学概論-P ※
兼担	教授	秋山 伸 <令和6年4月> 芸術学修士
		芸術工学概論-P ※
兼担	助教	永吉 宏行 <令和6年4月> 修士(芸術工学)
		ジェネレーティブアート演習-P

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	井掛 紗百合 <令和6年4月> 学士(芸術工学)
		クラフト実習Ⅱ クラフト応用実習Ⅰ クラフト応用実習Ⅱ 陶表現 ※
兼任	講師	岩田 直樹 <令和6年4月> 高等学校卒
		デザインブランディング論
兼任	講師	榎田 柚圭里 <令和6年4月> 修士(芸術工学)
		家具・インテリア製図
兼任	講師	柿原 文子 <令和6年4月> 家政学修士
		素材・材料論 ※
兼任	講師	金井 謙介 <令和6年4月> 修士(学術)
		ユニバーサルデザイン
兼任	講師	小嶋 崇嗣 <令和6年4月> 学士(芸術学)
		クラフト実習Ⅱ クラフト応用実習Ⅰ クラフト応用実習Ⅱ 宝飾表現
兼任	講師	小森 絵美 <令和6年4月> 博士(保健学)
		身体とデザイン ※
兼任	講師	迫田 真実 <令和6年4月> 学士(芸術)
		基礎撮影演習(ファッション)
兼任	講師	重本 昌利 <令和6年4月> 工学士
		ニットデザイン
兼任	講師	杉本 ひとみ <令和6年4月> 修士(芸術学)
		素材・材料論 ※ 陶表現 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	井掛 紗百合 <令和6年4月> 学士(芸術工学)
		クラフト実習Ⅱ クラフト応用実習Ⅰ クラフト応用実習Ⅱ 陶表現 ※
兼任	講師	岩田 直樹 <令和6年4月> 高等学校卒
		デザインブランディング論
兼任	講師	柿原 文子 <令和6年4月> 家政学修士
		素材・材料論 ※
兼任	講師	金井 謙介 <令和6年4月> 修士(学術)
		ユニバーサルデザイン
兼任	講師	小嶋 崇嗣 <令和6年4月> 学士(芸術学)
		クラフト実習Ⅱ クラフト応用実習Ⅰ クラフト応用実習Ⅱ 宝飾表現
兼任	講師	迫田 真実 <令和6年4月> 学士(芸術)
		基礎撮影演習(ファッション)
兼任	講師	重本 昌利 <令和6年4月> 工学士
		ニットデザイン
兼任	講師	杉本 ひとみ <令和6年4月> 修士(芸術学)
		陶表現 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 健一 <令和7年4月> 修士
		ファッションマーケティング
兼任	講師	小川 クロ <令和6年4月> 修士(芸術工学)
		クラフト実習Ⅱ クラフト応用実習Ⅰ クラフト応用実習Ⅱ フィギュア応用表現
兼任	講師	中田 一範 <令和6年4月> 芸術学士
		テキスタイルプリントデザイン
兼任	講師	成羽 学 <令和6年4月> 専門学校卒
		デザインプロモーション演習
兼任	講師	林口 哲也 <令和6年4月> 修士(工学)
		基礎撮影演習
兼任	講師	深谷 友貴 <令和6年4月> 工学士
		3Dモデリング応用
兼任	講師	藤木 武史 <令和6年4月> 芸術学士
		プロダクトデザイン応用実習Ⅰ ※ プロダクトデザイン応用実習Ⅱ ※
兼任	講師	藤林 祥浩 <令和6年4月> 芸術学士
		プロダクトデザイン応用実習Ⅰ ※ プロダクトデザイン応用実習Ⅱ ※
兼任	講師	細井 基夫 <令和6年4月> 高等学校卒
		クラフト実習Ⅱ クラフト応用実習Ⅰ クラフト応用実習Ⅱ 吹きガラス表現
兼任	講師	前川 拓史 <令和6年4月> 学士
		ファッション・テキスタイル応用実習Ⅰ ※ ファッション企画演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 健一 <令和7年4月> 修士
		ファッションマーケティング
兼任	講師	小川 クロ <令和6年4月> 修士(芸術工学)
		クラフト実習Ⅱ クラフト応用実習Ⅰ クラフト応用実習Ⅱ フィギュア応用表現
兼任	講師	中田 一範 <令和6年4月> 芸術学士
		テキスタイルプリントデザイン テキスタイル基礎
兼任	講師	成羽 学 <令和6年4月> 専門学校卒
		デザインプロモーション演習
兼任	講師	林口 哲也 <令和6年4月> 修士(工学)
		基礎撮影演習
兼任	講師	深谷 友貴 <令和6年4月> 工学士
		3Dモデリング応用
兼任	講師	藤木 武史 <令和6年4月> 芸術学士
		プロダクトデザイン応用実習Ⅰ ※ プロダクトデザイン応用実習Ⅱ ※
兼任	講師	藤林 祥浩 <令和6年4月> 芸術学士
		プロダクトデザイン応用実習Ⅰ ※ プロダクトデザイン応用実習Ⅱ ※
兼任	講師	細井 基夫 <令和6年4月> 高等学校卒
		クラフト実習Ⅱ クラフト応用実習Ⅰ クラフト応用実習Ⅱ 吹きガラス表現
兼任	講師	前川 拓史 <令和6年4月> 学士
		ファッション・テキスタイル応用実習Ⅰ ※ ファッション企画演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松本 朋子 <令和6年4月> 准学士
		プレゼンテーション基礎 ※ プレゼンテーション応用
兼任	講師	新 聖子 <令和6年4月> 修士(文学)
		日本語表現 I 文章表現法B
兼任	講師	磯部 直希 <令和6年4月> 博士(文学)
		世界史
兼任	講師	井本 圭祐 <令和6年4月> 学士(芸術)
		コンピュータ基礎実習-P
兼任	講師	Hernández Hernández Álvaro David <令和6年4月> 博士(社会学)
		現代社会論
兼任	講師	王地 裕介 <令和6年4月> 修士(経営学)
		マーケティング論
兼任	講師	岡本 香代子 <令和6年4月> 博士(医学)
		健康科学 スポーツ実技A
兼任	講師	岡本 智之 <令和6年4月> 修士(法学)
		知的財産権入門
兼任	講師	鹿島 秀元 <令和6年4月> 博士(理学)
		数学入門A 数学入門B
兼任	講師	梶原 久梨子 <令和6年4月> 修士(言語学)
		フランス語 I フランス語 II
兼任	講師	鎌苅 宏司 <令和6年4月> 博士(経済学)
		経済・政治

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松本 朋子 <令和6年4月> 准学士
		プレゼンテーション基礎 ※ プレゼンテーション応用
兼任	講師	
兼任	講師	磯部 直希 <令和6年4月> 博士(文学)
		世界史
兼任	講師	井本 圭祐 <令和6年4月> 学士(芸術)
		コンピュータ基礎実習-P
兼任	講師	Hernández Hernández Álvaro David <令和6年4月> 博士(社会学)
		現代社会論
兼任	講師	王地 裕介 <令和6年4月> 修士(経営学)
		マーケティング論
兼任	講師	岡本 香代子 <令和6年4月> 博士(医学)
		健康科学 スポーツ実技A
兼任	講師	岡本 智之 <令和6年4月> 修士(法学)
		知的財産権入門
兼任	講師	鹿島 秀元 <令和6年4月> 博士(理学)
		数学入門A 数学入門B
兼任	講師	梶原 久梨子 <令和6年4月> 修士(言語学)
		フランス語 I フランス語 II
兼任	講師	鎌苅 宏司 <令和6年4月> 博士(経済学)
		経済・政治

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鴨谷 真知子 <令和6年4月> 造形学士
		コンピュータ基礎実習-P
兼任	講師	日下 れいか <令和6年4月> 学士(芸術工学)
		図学・製図基礎実習-P
兼任	講師	藏田 典子 <令和6年4月> 修士(人間・環境学)
		人文地理学
兼任	講師	黒崎 創 <令和6年4月> 学士(芸術学)
		写真基礎実習-P
兼任	講師	小橋 薫 <令和6年4月> 修士(教育学)
		基礎英語 I 基礎英語 II 表現のための英語A 表現のための英語B
兼任	講師	阪本 清美 <令和6年4月> 博士(学術)
		人間工学-P
兼任	講師	篠原 功治 <令和6年4月> 学士(経済学)
		キャリアデザインC
兼任	講師	下村 朝香 <令和6年4月> 修士(文学)
		デザイン史 美学
兼任	講師	張 京花 <令和6年4月> 修士(農学)
		韓国語 I 韓国語 II
兼任	講師	杉林 周陽 <令和6年4月> 修士(文学)
		ドイツ語 I ドイツ語 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	日下 れいか <令和6年4月> 学士(芸術工学)
		図学・製図基礎実習-P
兼任	講師	黒崎 創 <令和6年4月> 学士(芸術学)
		写真基礎実習-P
兼任	講師	小橋 薫 <令和6年4月> 修士(教育学)
		基礎英語 I 基礎英語 II 表現のための英語A 表現のための英語B
兼任	講師	篠原 功治 <令和6年4月> 学士(経済学)
		キャリアデザインC
兼任	講師	下村 朝香 <令和6年4月> 修士(文学)
		デザイン史 美学
兼任	講師	張 京花 <令和6年4月> 修士(農学)
		韓国語 I 韓国語 II
兼任	講師	杉林 周陽 <令和6年4月> 修士(文学)
		ドイツ語 I ドイツ語 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	角田 宏子 <令和6年4月> 博士(文学)
		日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ 文章表現法A
兼任	講師	谷下 加月夫 <令和6年4月> 経済学士
		スポーツ実技B(ダンス)
兼任	講師	辻本 道子 <令和6年4月> 修士(芸術工学)
		心理学 色とかたち-P
兼任	講師	程 遠巍 <令和6年4月> 博士(人間・環境学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	中尾 泰史 <令和6年4月> 修士(体育学)
		スポーツ実技A
兼任	講師	中川 祐香 <令和6年4月> 修士(言語教育学)
		日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ
兼任	講師	中山 和也 <令和6年4月> 修士(工学)
		コンピュータ基礎実習-P
兼任	講師	行木 敬 <令和6年4月> 修士(文学)
		文化人類学
兼任	講師	野口 雅司 <令和6年4月> 修士(文学) / 修士(言語教育)
		日本語表現Ⅱ
兼任	講師	藤村 貴子 <令和6年4月> 学士(社会学)
		キャリアデザインB
兼任	講師	藤本 隆 <令和6年4月> 教育学修士
		生涯学習概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	角田 宏子 <令和6年4月> 博士(文学)
		日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ 文章表現法A
兼任	講師	谷下 加月夫 <令和6年4月> 経済学士
		スポーツ実技B(ダンス)
兼任	講師	辻本 道子 <令和6年4月> 修士(芸術工学)
		心理学 色とかたち-P
兼任	講師	程 遠巍 <令和6年4月> 博士(人間・環境学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	中尾 泰史 <令和6年4月> 修士(体育学)
		スポーツ実技A
兼任	講師	中川 祐香 <令和6年4月> 修士(言語教育学)
		日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ
兼任	講師	中山 和也 <令和6年4月> 修士(工学)
		コンピュータ基礎実習-P
兼任	講師	行木 敬 <令和6年4月> 修士(文学)
		文化人類学
兼任	講師	野口 雅司 <令和6年4月> 修士(文学) / 修士(言語教育)
		日本語表現Ⅱ
兼任	講師	藤村 貴子 <令和6年4月> 学士(社会学)
		キャリアデザインB キャリアデザインA キャリアデザインC
兼任	講師	藤本 隆 <令和6年4月> 教育学修士
		生涯学習概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	前田 恭子 <令和6年4月> 修士(美術)
		デッサン基礎実習-P
兼任	講師	前田 博美 <令和6年4月> 修士(都市経営)
		キャリアデザインA キャリアデザインC
兼任	講師	熟 美保子 <令和6年4月> 博士(文学)
		日本史
兼任	講師	村山 量平 <令和6年4月> 学士(芸術)
		コンピュータ基礎実習-P
兼任	講師	室 千草 <令和6年4月> 学士(芸術)
		コンピュータ基礎実習-P
兼任	講師	森元 亜紀子 <令和6年4月> 修士(学術)
		英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB
兼任	講師	安田 有紀子 <令和6年4月> 修士(学校教育学)
		英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB
兼任	講師	山岸 由敦 <令和6年4月> 修士(法学)、学士(芸術)
		現代デザイン論-P
兼任	講師	山崎 均 <令和6年4月> 芸術学修士
		日本美術史
兼任	講師	吉國 秀人 <令和6年4月> 博士(教育学)
		教育心理学
兼任	講師	吉本 光繪 <令和6年4月> 工学士
		図学・製図基礎実習-P

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	前田 恭子 <令和6年4月> 修士(美術)
		デッサン基礎実習-P
兼任	講師	前田 博美 <令和6年4月> 修士(都市経営)
		キャリアデザインA キャリアデザインC
兼任	講師	熟 美保子 <令和6年4月> 博士(文学)
		日本史
兼任	講師	村山 量平 <令和6年4月> 学士(芸術)
		コンピュータ基礎実習-P
兼任	講師	室 千草 <令和6年4月> 学士(芸術)
		コンピュータ基礎実習-P
兼任	講師	森元 亜紀子 <令和6年4月> 修士(学術)
		英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB
兼任	講師	安田 有紀子 <令和6年4月> 修士(学校教育学)
		英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB
兼任	講師	山岸 由敦 <令和6年4月> 修士(法学)、学士(芸術)
		現代デザイン論-P
兼任	講師	吉國 秀人 <令和6年4月> 博士(教育学)
		教育心理学
兼任	講師	吉本 光繪 <令和6年4月> 工学士
		図学・製図基礎実習-P

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- 金子 照之を教授辞任により兼任講師として採用。
- 担当者の見直しにより、数理とかたちの担当者を金子 照之から大内 克哉に変更。
- 担当者の見直しにより、ジェネレーティブアート演習-Pの担当者を金子 照之から永吉 宏行に変更。
- 生産・工芸デザインの現場をオムニバスに変更（届出時の誤り）。
- 担当者の見直しにより、テキスト基礎の担当者を笹崎 綾野から中田 一範に変更。
- 担当者の見直しにより、素材・材料論の担当者に友定 聖雄、森岡 希世子、田口 史樹、三島 一能、正光（物延） 亜実を追加、杉本 ひとみを削除。
- 担当者の見直しにより、3Dモデリング基礎の担当者を見明 暢から剣持 貴史に変更。
- 荒木 優子辞任により、芸術工学概論-Pの担当者を秋山 伸、金沢 香恵に変更。
- 権 裕美辞任により、パターンメイキングの担当者を杉本 美菜に変更、ファッション・デジタルクリエーションは担当者未定、その他の科目は淡路谷 朋子に変更。
- 安森 弘昌辞任により、製図法演習の担当者を剣持 貴史に変更、その他の科目は複数担当者があるため、他の担当者により開講。
- 担当者の見直しにより、ビジネス数学（SPI対策）の担当者を大内 克哉から植田 元気に変更。
- 担当者の見直しにより、スタディスキルの担当者を津田 徹から大内 克哉に変更。
- 担当者の見直しにより、数理とかたちの担当者を金子 照之から大内 克哉に変更。
- 担当者の見直しにより、ビジネスコンピュータの担当者を津田 徹から吉田 拓也に変更。
- アラル（須本）・ケンザ宝 学位取得。
- 山本 忠宏 学位取得。
- 榎田 柚圭里辞任により、家具・インテリア製図の担当者を酒井 浩司に変更。
- 小森 絵美辞任により、身体とデザインの担当者に平田 一郎を追加。
- 新 聖子辞任により、日本語表現Ⅰの担当者を中川 佐保、三宅 靖子に変更、文章表現法Bの担当者を中川 佐保に変更。
- 鴨谷（焰田） 真知子辞任により、コンピュータ基礎実習-Pの担当者を中島 歩実に変更。
- 蔵田 典子辞任により、人文地理学の担当者を渡邊 英明に変更。
- 阪本 清美辞任により、人間工学-Pの担当者を平田 一郎に変更。
- 開講クラス教員見直しにより、キャリアデザインA、キャリアデザインCの担当者に藤村 貴子を追加。
- 藤本 隆辞任により、生涯学習概論の担当者を野村 知二に変更。
- 山崎 均辞任により、日本美術史の担当者を飯尾 由貴子に変更。
- ラッダ 政美辞任により、基礎英語Ⅰ、基礎英語Ⅱの担当者を岩宮 努に変更。
- 脇田 吉隆辞任により、法学（日本国憲法を含む）の担当者を木村 光豪に変更。
- 開講クラス教員見直しにより、デッサン基礎実習の担当者に吉田 幸織を追加。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10	5
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
6	7	0	1	14	3	5	6	0	1	12	7
(5)	(6)	(0)	(1)	(12)	(7)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
5	6	0	1	12	7	5	6	0	1	12	7
[Δ1]	[Δ1]	[0]	[0]	[Δ2]	[4]	[Δ1]	[Δ1]	[0]	[0]	[Δ2]	[4]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、限可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{14} = \boxed{85.71} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{7}{3} = \boxed{233.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	教授	金子 照之	R6.3	選択	数理と私たち	③	R6.3—身上の都合により就任辞退（6）		
				選択	情報とネットワーク	②			
				選択	博物館情報・メディア論	②			
				選択	ジェネレーティブアート演習-P	③			
				選択	Webプログラミング演習-P	②			
				選択	Pythonプログラミング演習-P	②			
2	准教授	権 裕美	R6.3	必修	生産・工芸デザイン概論	①	R6.3—身上の都合により就任辞退（6）		
				必修	生産・工芸デザイン基礎実習B	①			
				必修	生産・工芸デザインの現場	①			
				選択	ファッション・テキスタイル実習Ⅰ	①			
				選択	ファッション・テキスタイル実習Ⅱ	①			
				選択	ファッション・テキスタイル応用実習Ⅰ	①			
				選択	ファッション・テキスタイル応用実習Ⅱ	①			
				選択	学科入門セミナー	①			
				選択	パターンメイキング	②			
				選択	ファッション・デジタルクリエーション	③			
				選択	生産・工芸デザインプロジェクト	①			
				選択	ファッション空間演出	①			
3	准教授	安森 弘昌	R6.3	必修	生産・工芸デザイン概論	①	R6.3—身上の都合により就任辞退（6）		
				必修	生産・工芸デザイン基礎実習A	①			
				必修	生産・工芸デザインの現場	①			
				選択	プロダクトデザイン実習Ⅰ	①			
				選択	プロダクトデザイン実習Ⅱ	①			
				選択	プロダクトデザイン応用実習Ⅰ	①			
				選択	プロダクトデザイン応用実習Ⅱ	①			
				選択	学科入門セミナー	①			
				選択	製図法演習	②			
				選択	生産・工芸デザインプロジェクト	①			
必修	卒業研究	①							
合計（D）				後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
3	人	必修	8 科目	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	22 科目	選択	13 科目	選択	6 科目	選択	3 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	30 科目	計	21 科目	計	6 科目	計	3 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
							該当なし			
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
3	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目
		選択	22	科目	選択	13	科目	選択	6	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	30	科目	計	21	科目	計	6	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{3}{14} = 21.42\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

3 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で**赤字**で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ **令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。**

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
						該当なし	
合計					後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

担当予定皆目のうち、オムニバスの科目については、同学科の専任教員、兼任・兼任教員により担当することとした。単独で担当する科目については、後任を採用し、未定の科目については、公募することとした。なお、年度当初にシラバス、時間割表を学生に配付し周知している。(6)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）（6）」と記載してください。
 - 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<芸術工学部 生産・工芸デザイン学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD・SD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） FD・SD委員会は、年3回開催予定（別途研究会を開催予定）。 FD・SD委員は学長が委嘱した各学科等の専任教員及び事務職員で構成している。</p> <p>c 委員会の審議事項等 FD・SD委員会において次の事項の審議を行っている。</p> <p>(1) FD・SDに係る基本方策に関する事項</p> <p>(2) 教員の教育の質的向上に係る各種施策の企画・立案及び実施に関する事項</p> <p>(3) 事務職員の能力開発推進に係る各種施策の企画・立案及び実施に関する事項</p> <p>(4) 職員の研修等の企画・立案及び実施に関する事項</p> <p>(5) 教授法及び授業の改善に関する事項</p> <p>(6) FD・SDの啓発活動に関する事項</p> <p>(7) その他FD・SD活動推進に関する事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>(令和5年度実施)</p> <ul style="list-style-type: none">・ハラスメント防止に関する研究会・教育現場における著作物の利用とその留意点に関する研究会・研究活動における研究費不正使用及び不正行為の防止に関する研究会・AIの可能性と課題に関する研究会 <p>(令和6年度予定)</p> <ul style="list-style-type: none">・ハラスメント防止に関する研究会・研究活動における研究費不正使用及び不正行為の防止に関する研究会・教育の質保証・教学マネジメントに関する研究会 <p>b 実施方法 主に教授会終了後、全教職員を対象として実施。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p>

大学全体として、年2・3回の実施を予定。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

研究会において、取上げたテーマに基づき、それぞれの学科の取組みなどの意見公開を行い、それらを参考にして、授業内容・方法の改善につなげている。

また、授業アンケートについては、それぞれの結果を担当教員にフィードバックし、その結果に基づき教員のコメントを公表するとともに、授業改善につなげている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有・前期後期各1回

b 教員や学生への公開状況、方法等

学内Webにて、教員・学生に公開。図書館でも閲覧可能。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

今年度、従来の7学科から幅広い分野を学ぶことができる4学科とし、融合的な構成によって視野を広げ、学生が主体的に課題を発見し、解決方法を考え提案できる応用力を育成している。令和6(2024)年度入学試験においては、定員100名に対し104名が入学する結果となったが、入学定員の1.1倍を目標に教育のさらなる充実を図る。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和6年12月1日 公表（予定）

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和6年12月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・令和9年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《aで公表「無」の場合》

- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。